

平成 23 年 6 月 15 日
内閣府公共サービス改革推進室

民間競争入札実施事業
労働大学校施設管理・運營業務の評価（案）

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）第 7 条第 8 項の規定に基づく標記事業の評価は以下のとおり。

I 事業の概要等

1 実施の経緯及び事業の概要

独立行政法人労働政策研究・研修機構（以下「機構」という。）の労働大学校の施設管理・運營業務については、公共サービス改革基本方針（平成 19 年 12 月 24 日改定を閣議決定）において、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）に基づく民間競争入札（以下「民間競争入札」という。）を実施することを決定した。これを受けて機構は官民競争入札等監理委員会の議を経て、「労働大学校の施設管理・運營業務における民間競争入札実施要項」（以下「実施要項」という。）を定め、実施要項に基づき、民間競争入札を実施し、受託事業者を決定している。その概要は以下の通りである。

事 項	内 容
業務内容	労働大学校における機械設備管理業務、電気設備管理業務、警備業務、清掃・衛生管理業務、緑地管理業務
契約期間	平成 21 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までの 3 年間
受託事業者	新東産業株式会社共同事業体 代表者 新東産業株式会社 構成員 中央警備保障株式会社
契約金額	121,061 千円（税込）
業務の実施に当たり確保されるべき質	①利用者の満足度〔アンケート〕 ②品質の維持〔管理・運營業務の不備に起因する事故（研修の中断、空調の停止・停電・断水）の不発生〕 ③安全性の確保〔管理・運營業務の不備に起因する施設利用者の怪我の不発生〕

2 受託事業者決定の経緯

実施要項に基づき、必須項目の要件を全て満たしている企画書を提出した 5 者について、平成 21 年 1 月 20 日入札を行ったところ、5 者とも予定価格を上回る価格であ

ったため再度入札を行った。その結果3者が予定価格の制限の範囲内で入札のあったことから、当該3者の企画書（加点項目）について評価を行い、落札者となった業者と契約した。

II 評価

1 評価方法について

機構から提出された平成21、22年度民間競争入札実施事業の実施状況報告（別添）に基づき、サービスの質の確保、実施経費等の観点から、実績評価を行うものとする。

2 対象公共サービスの実施内容に関する評価

(1) 対象公共サービスの質

ア 利用者の満足度

(ア) 実施結果

本業務においては、「質問1 大学校内各施設の生活面にかかる整備状況」（質問項目数は5つ）及び「質問2 警備員の対応」（質問項目数は2つ）について、4段階の回答のうちの上位2段階以上（「やや満足」以上）の評価が質問1については70%、質問2については85%以上」を目標として設定したところ、研修生に対するアンケートの結果は、次のとおり。

「質問1 大学校内各施設の生活面にかかる整備状況」のアンケート結果

	平成21年度	平成22年度
質問項目	結果	結果
①施設内全ての清掃状況	88%	89%
②消耗品の補充	96%	94%
③寝具類の清潔感	86%	88%
④緑地環境の整備	90%	90%
⑤生活全般	88%	87%

「質問2 警備員の対応」のアンケート結果

	平成21年度	平成22年度
質問項目	結果	結果
①備品の貸出対応、各種問合せへの対応、	87%	90%
②夜間の静粛の保持対応、緊急時、突発時等の対応	86%	87%

注：1 アンケートは研修課程が終了する都度実施した（平成21年度は77回、平成22年度は79回実施）。

- 2 累計の対象者数は平成 21 年度は 3,219 名、平成 22 年度は 3,386 名であり、それぞれ 3,184 名、3,358 名から回答が得られた（回収率 平成 21 年度 99%、平成 22 年度 99%）

(イ) 評価

156 回実施したアンケートにおいて、回収率、満足度とも高い数値を保っており、適切に実施されたと評価できる。

イ 品質の維持及び安全性の確保

(ア) 実施結果

管理・運營業務の不備に起因する事故（研修の中断、空調の停止・停電・断水）及び管理・運營業務の不備に起因する施設利用者の怪我の発生件数は 0 件であり、その他運營業務の実施状況にも問題は認められない。

(イ) 評価

適切に実施されたものと評価できる。

ウ 事業を実施する中で、改善提案に基づいて実施要項に記載のなかった以下の業務が実施され、また落雷による停電時の対応が適切かつ迅速に実施されるなど、事業者の創意工夫が発揮されていると考えられる。

- ①落雷による停電のため各所機器等が電源切断したことを受け、復電後の各機器の再起動等をより迅速に行えるよう、警備員等でも実施可能な各機器の復旧リストを作成
- ②各施設設備や改修実施時期、現状等の的確な把握が可能となるよう、数か所に分散していた施設内各所の図面を一か所にまとめ、図面を整理
- ③日々のゴミ出しや、分別方法を改善し、研修生に協力を求めたことにより、ゴミの散乱がなくなるとともに、資源ゴミとしてのリサイクル回収がより徹底された。
- ④迅速かつ適切な在庫管理が可能となるよう、清掃関係の消耗品の設置方法、在庫管理方法等を改善

(2) 実施経費

平成 21 年度から平成 23 年度に係る 3 年間の事業として民間競争入札を実施し、入札者が提出した企画書及び入札金額について、総合評価（除算方式（基礎点 40 点、加算点 70 点））を行い、落札者を決定した（従来は、業務ごとに一般競争入札等を実施し、業務ごとに一般の民間事業者が受注）。

平成 20 年度の従来費用と平成 21 年度及び平成 22 年度の実施経費の状況を示すと以下のとおりである。

単位:千円

区分	従来の経費 20年度	民間競争入札実施後による経費		従来の経費との差	
		21年度	22年度	21年度-20年度	22年度-20年度
①定額により定める部分					
業務委託費基本額	36,281	36,052	36,052	△ 229	△ 229
22年度変更契約による増加額			4,418		4,418
(内訳)					
警備業務			3,528		3,528
清掃・衛生業務			732		732
電気設備管理業務			190		190
機械設備管理業務			△ 32		△ 32
②単価契約部分	499	460	725	△ 39	226
実施経費計(①+②)	36,780	36,512	41,195	△ 268	4,415

注 1) 警備業務については、平成 21 年度末で退職した管理人の担当業務を警備業務に追加し、警備業務時間を延長したことに伴い契約額が増加 (3,528 千円) した。

注 2) 平成 21 年度中に実施した施設改修工事等に伴い、平成 22 年度より契約内容を変更している。これに伴う契約額の主な増減理由は以下のとおりである。

①清掃・衛生業務については、主に空調設備の新設工事により、増設したエアコンのフィルターの清掃等を業務の対象に加えたことに伴い契約額が増加 (732 千円) している。

②電気設備管理業務については、主に空調設備の新設工事により、増設した電気設備 (高圧配電盤等) の点検を業務の対象に加えたことに伴い契約額が増加 (190 千円) している。

③機械設備管理業務については、主に空調設備の新設工事により、不要となった送排風機の点検を従前の業務から削除したこと等に伴い契約額が減少 (32 千円) している。

注 3) 単価契約部分については、年度ごとに施設利用者数に変動するため、単純に比較することはできないが、15 項目ある契約単価についてはすべて下がっている (下げ率 4%~54%)。

・契約単価 (税別) の例: シーツ : 20 年度 100 円 → 21、22 年度 67 円
枕カバー : 20 年度 50 円 → 21、22 年度 23 円
布団カバー : 20 年度 120 円 → 21、22 年度 73 円

実施経費の合計で比較すると、22 年度の額は 20 年度の従来の額を上回っている。

しかし、上記警備業務の追加及び施設改修工事等に伴う 22 年度変更契約による増加額及び施設利用者数による変動要素のある単価契約部分を除いた業務委託費基本額について、民間競争入札実施後の平成 21 年度及び 22 年度の各年度の実施額 (36,052 千円) を比較すると、20 年度の従来の実施経費 (36,281 千円) の約 99.4% に相当し、1 年当たり 229 千円の経費削減となっている (削減率: 0.6%)。

3 評価のまとめ

①業務の実施に当たり確保されるべき質として設定された質・水準は、目標を達成していること、②事業者の改善提案に基づいて実施要項に記載のなかった業務も多数実施され、また落雷による停電時の対応が適切かつ迅速に実施されるなど、事

業者の創意工夫が発揮されていること、③事業者の改善提案に基づいて新規の業務を追加しているにも関わらず、経費（警備業務の追加及び施設改修工事等に伴う 22 年度変更契約による増加額及び施設利用者数による変動要素のある単価契約部分を除いた業務委託費基本額）について 0.6%（年度当たり 229 千円）の削減となっていること、④従来業務ごとに単年度で実施していた契約業務を、本民間競争入札の実施により包括化しかつ 3 年間に 1 回のみとしたため、契約事務が効率化されたこと及び⑤平成 22 年度からの仕様の変更にも適切に対応していることから、公共サービスの質の維持向上、経費の削減の双方の実現が達成されていると評価可能である。

なお、経費的な節減はわずかであったものの、各種業務を一括して委託することとし、さらに、当該民間業者が常駐技術者 1 名を総括責任者として任命したことにより、複数の業務にわたる問題が発生した際も各業務間での連携・協力により迅速かつ適切な対処及び報告がなされ、また、機構との意志疎通が図られており、民間競争入札の導入による効果は大きかったものと考えられる。

4 今後の事業について

以上の評価の結果から、次期事業においても、引き続き、民間競争入札を実施することが必要と考えられる。

ただし、「労働大学校施設管理・運営」業務については、昨年 4 月に行われた行政刷新会議における独立行政法人が行う事業の事業仕分けの結果を受けて、独立行政法人事務・事業の見直しの基本方針（平成 22 年 12 月閣議決定）において、23 年度以降、労働大学校に係る土地建物を国庫納付し、事業規模は縮減した上で国が実施することとなった。

このため、本事業については、厚生労働省及び機構における労働大学校に係る土地建物の国庫納付等の検討状況を踏まえ、改めて次期事業の実施のあり方を検討することが必要である。

以上

平成 23 年 6 月 3 日
独立行政法人労働政策研究・研修機構

民間競争入札実施事業
労働大学校施設管理・運營業務の実施状況について
(平成 21 年度・22 年度)

I 事業の概要

1. 委託業務内容

労働大学校における機械設備管理業務、電気設備管理業務、警備業務、清掃・衛生管理業務、緑地管理業務

2. 業務委託期間

平成 21 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

3. 受託事業者

新東産業株式会社共同事業体

(構成員：新東産業株式会社、中央警備保障株式会社)

II 達成すべき質の達成状況及び評価

各業務	測定指標	評価
快適性の確保	研修生に対するアンケート調査 (4 段階) において、質問 1 「大学校内各施設の生活面にかかる整備状況」 について「満足」「やや満足」の合計回答率が 70% 以上であること。(詳細は別紙参照)	
	(平成 21 年度) アンケート実施時期：通年 (77 回実施) 対象者数：3,219 名 回収数：3,184 通 回収率：98.91 %	適 (満足度 89.12%)
	(平成 22 年度) アンケート実施時期：通年 (79 回実施) 対象者数：3,386 名 回収数：3,358 通 回収率：99.17 %	適 (満足度 89.68%)

快適性の確保	研修生に対するアンケート調査（４段階）において、質問２「警備員の対応」について「満足」「やや満足」の合計回答率が 85%以上であること。（詳細は別紙参照）	
	（平成 21 年度） アンケート実施時期：通年（77 回実施） 対象者数：3,219 名 回収数：3,184 通 回収率：98.91 %	適 (満足度 85.99%)
	（平成 22 年度） アンケート実施時期：通年（79 回実施） 対象者数：3,386 名 回収数：3,358 通 回収率：99.17 %	適 (満足度 88.77%)
品質の維持	管理・運營業務の不備に起因する研修の中断回数が 0 回であること。	平成 21、22 年度 適 (発生回数 0 回)
品質の維持	管理・運營業務の不備に起因する空調停止、停電、断水の発生回数が 0 回であること。	平成 21、22 年度 適 (発生回数 0 回)
安全性の確保	管理・運營業務の不備に起因する施設利用者の怪我の回数が 0 回であること。	平成 21、22 年度 適 (発生回数 0 回)

なお、民間業者から提出された各業務の実施状況に関する業務報告については、全て適正なものであった。

III 実施経費の状況及び評価

1. 平成 21、22 年度と平成 20 年度の実施経費

単位:千円

区分	従来の経費 20年度	民間競争入札実施後による経費		従来の経費との差	
		21年度	22年度	21年度-20年度	22年度-20年度
①定額により定める部分					
業務委託費基本額	36,281	36,052	36,052	△ 229	△ 229
22年度変更契約による増加額			4,418		4,418
（内訳）					
警備業務			3,528		3,528
清掃・衛生業務			732		732
電気設備管理業務			190		190
機械設備管理業務			△ 32		△ 32
②単価契約部分	499	460	725	△ 39	226
実施経費計(①+②)	36,780	36,512	41,195	△ 268	4,415

注 1) 警備業務については、平成 21 年度末で退職した管理人の担当業務を警備業務に追加し、警備業務時間を延長したことに伴い契約額が増加（3,528 千円）した。

注2) 平成21年度中に実施した施設改修工事等に伴い、平成22年度より契約内容を変更している。これに伴う契約額の主な増減理由は以下のとおりである。

- ①清掃・衛生業務については、主に空調設備の新設工事により、増設したエアコンのフィルターの清掃等を業務の対象に加えたことに伴い契約額が増加（732千円）している。
- ②電気設備管理業務については、主に空調設備の新設工事により、増設した電気設備（高圧配電盤等）の点検を業務の対象に加えたことに伴い契約額が増加（190千円）している。
- ③機械設備管理業務については、主に空調設備の新設工事により、不要となった送排風機の点検を従前の業務から削除したこと等に伴い契約額が減少（32千円）している。

注3) 単価契約部分については、年度ごとに施設利用者数変動するため、単純に比較することはできないが、15項目ある契約単価についてはすべて下がっている（下げ率4%～54%）。

・契約単価（税別）の例：
シーツ：20年度100円 → 21、22年度67円
枕カバー：20年度50円 → 21、22年度23円
布団カバー：20年度120円 → 21、22年度73円

2. 評価

上記警備業務の追加及び施設改修工事等に伴う22年度変更契約による増加額及び施設利用者数による変動要素のある単価契約部分を除いた業務委託費基本額について、民間競争入札実施後の平成21年度及び22年度の各年度の実施額（36,052千円）を、実施前直近の平成20年度の実施額（36,281千円）と比較すると、229千円の経費削減効果があった。

IV 競争状況及び評価

1. 本業務の応札状況

「労働大学の施設管理・運營業務における民間競争入札実施要項」に基づき、必須項目の要件を全て満たしている企画書を提出した5者について、平成21年1月20日入札を行ったところ、5者とも予定価格を上回る価格であったため再度入札を行った。その結果3者が予定価格の制限の範囲内で入札のあったことから、当該3者の企画書（加点項目）について評価を行い、落札者となった業者と契約した。

2. 評価

施設の管理・運営に係る業務については、平成20年度まで「警備業務」「清掃業務」「電気設備管理業務」「機械設備管理業務」「寝具類の賃貸借」の各業務について、それぞれ一般競争入札により契約相手方を決定していたが、これらを全てを、随意契約で決定していた規模の小さい業務（15件）も含めて、一括して入札を行ったことにより、契約事務及び支払事務を軽減することができた。

V 民間業者からの改善提案による改善実施事項等

1. 改善状況等

- ①企画書に記された民間業者からの提案のとおり、平成21年度の業務開始以降、施設の管理・運営に係る委託業務全体について、常駐電気設備業務担当技術者が「維持管理業務責任者（総括責任者）」に指定され、その者による業務全体の網羅的な運営管理により各業務のサービス水準の保持・均質化、関連する複数業務間の連携・協力、大学校との窓口の

一本化が図られている。

- ②民間業者の企画書に記されていたとおり、平成21年度の業務開始以降、施設内の軽微な不具合箇所については、迅速に補修が施され、施設内の安全性の維持に寄与している。
- ③落雷による停電のため各所機器等が電源切断したことを受け、民間業者からの提案により、復電後の各機器の再起動等をより迅速に行えるよう、警備員等でも実施可能な各機器の復旧リスト作成の提案があり、民間業者が作成した。〈平成22年6月〉
- ④民間業者の提案により、数か所に分散していた施設内各所の図面を一か所にまとめるとともに、図面の整理をする提案があり、民間業者が実施した。〈平成22年5月〉
- ⑤退寮当日にゴミ出しをする研修生が多いため、ゴミ置き場にゴミが散乱し不衛生になることがあったところ、民間業者からの提案により、日々のゴミ出しや、分別方法の改善提案があり、研修生に協力を求めたことにより、ゴミの散乱がなくなるとともに、資源ゴミとしてのリサイクル回収がより徹底された。〈平成22年10月〉
- ⑥清掃関係の消耗品の設置方法、在庫管理方法等の提案があった。〈平成22年11月〉

2. 評価

夜間に落雷で停電した際、機械設備常駐技術者及び電気設備常駐技術者が警備員からの緊急連絡により出勤して各機器の復旧作業を行い、宿泊していた研修生の不便を最小限に抑えることができた、またその際の教訓を活かし、各機器の復旧リストを作成することで今後の同様の事態に備えることができるようにした。

当大学校設立以降、各所に分散し、整理不十分であった図面類を整理することで、各施設設備や改修実施時期、現状等のより一層の把握が可能となった。

清掃関係の業務において、消耗品、備品について清潔感が保たれるような設置方法、在庫管理方法の提案が民間業者からあり、より迅速かつ適切な在庫管理が可能となった。

VI 全体的な評価

労働大学校の施設管理・運營業務については、民間競争入札実施以前も、主な業務については一般競争入札により業者を決定したこともあり、経費的な節減は僅かであったが、各種業務を一括して委託することにより、複数の業務にわたる問題が発生した際も各業務間で連携・協力し、民間業者自ら迅速かつ適切に対処して問題が解決され、事後速やかに報告されることがあった。これは、民間競争入札実施以前、各々の業務を複数業者に個別に委託していた時には不可能であり、大きなメリットである。とりわけ当該民間業者は、常駐技術者1名を総括責任者として任命し、この者の指揮のもとに、大学校からの指示が全体にうまく伝わり、意志疎通が図られるとともに、各業務間の協力体制が保たれていた。

また、平成21年度末で退職した管理人がそれまで実施していた業務を警備業務に追加したこと、施設内の空調設備の更新・新設に伴い電気設備管理業務、機械設備管理、清掃・衛生管理の各業務における対象設備機器等の変更増加等が生じたこと等により、平成22年度より委託業務内容・仕様を変更した。この変更は全て労働大学校に起因するものであったが、当該民間業者は迅速かつ適切に対応し、労働大学校の事業運営、施設の維持管理に支障を生ずることは一切なかった。

なお、平成22年4月に行われた行政刷新会議による事業仕分けの評価結果を受け、同年12月、労働大学校の労働行政担当職員研修は「事業規模を縮減した上で、国が実施」、労

働大学校の国への移管に併せて「土地建物の国庫納付」が閣議決定された。このため、本業務の実施にあたっては、国への移管を念頭にあり方を検討していく必要がある。

別 紙

平成21年度 労働大学校研修生へのアンケート調査結果

アンケート調査は大学校に入校する全コースの研修生に対して実施し、集計は年4回（四半期毎に）行う。
 （「労働大学校の施設管理・運営業務における民間競争入札実施要項」第3項（3））

		年間合計	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
アンケート調査対象者数		3,219	1,258	574	879	508	
アンケート調査回収数		3,184	1,234	564	878	508	
質問1について	各設問に対する回答数合計（件）	16,089	6,311	2,828	4,399	2,551	
	「満足」「やや満足」の回答数合計（件）	14,339	5,655	2,501	3,921	2,262	
	「満足」「やや満足」の回答率（%）	89.12	89.61	88.44	89.13	88.67	
	(1) 清掃状況はいかがでしたか（浴室、トイレ等を含む大学校施設内全ての清掃状況について）。	「満足」「やや満足」の回答率（%）	88.13	90.84	85.11	86.22	88.19
		(2) トレットペーパー、石鹸、洗剤等消耗品の補充具合はいかがでしたか。	3,066	1,206	537	840	483
	「満足」「やや満足」の回答率（%）	96.29	97.73	95.21	95.67	95.08	
	(3) 寝具類の清潔感はいかがでしたか。	「満足」「やや満足」の回答率（%）	86.71	90.03	87.06	85.08	81.10
		(4) 施設内の緑地環境の整備はいかがでしたか。	2,877	1,111	488	806	472
	「満足」「やや満足」の回答率（%）	90.36	90.03	86.52	91.80	92.91	
	(5) 大学校での生活全般についてはいかがでしたか。以前研修を受けたことがある方は、その時と比べて今回はいかがでしたか。	「満足」「やや満足」の回答率（%）	88.85	89.63	89.54	87.81	87.99
		各設問に対する回答数合計（件）	6,429	2,517	1,130	1,756	1,026
	質問2について	「満足」「やや満足」の回答数合計（件）	5,528	2,144	984	1,515	885
		「満足」「やや満足」の回答率（%）	85.99	85.18	87.08	86.28	86.26
		(6) パソコン、アイロン等備品の貸出の対応、各種問合せへの対応はいかがでしたか。	「満足」「やや満足」の回答率（%）	87.44	88.98	87.77	86.90
(7) 夜間の静粛の保持への対応、緊急時、突発時等の対応はいかがでしたか。			2,744	1,046	489	752	457
「満足」「やや満足」の回答率（%）		86.18	84.76	86.70	85.65	89.96	

(注) 各設問における「満足」「やや満足」の回答数合計（件）及び回答率（%）

平成22年度 労働大学校研修生へのアンケート調査結果

アンケート調査は大学校に入校する全コースの研修生に対して実施し、集計は年4回（四半期毎に）行う。
 （「労働大学校の施設管理・運営業務における民間競争入札実施要項」第3項（3））

		年間合計	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
アンケート調査対象者数		3,386	1,371	527	1,009	479		
アンケート調査回収数		3,358	1,359	523	1,005	471		
質問1について	各設問に対する回答数合計（件）	16,827	6,800	2,621	5,049	2,357		
	「満足」「やや満足」の回答数合計（件）	15,090	6,147	2,298	4,506	2,139		
	「満足」「やや満足」の回答率（%）	89.68	90.40	87.68	89.25	90.75		
	(1) 清掃状況はいかがでしたか（浴室、トイレ等を含む大学校施設内全ての清掃状況について）。	「満足」「やや満足」の回答率（%）	89.82	90.58	91.20	88.26	89.38	
		(2) トレットペーパー、石鹸、洗剤等消耗品の補充具合はいかがでしたか。	3,162	1,294	495	935	438	
	「満足」「やや満足」の回答率（%）	94.16	95.22	94.65	93.03	92.99		
	(3) 寝具類の清潔感はいかがでしたか。	「満足」「やや満足」の回答率（%）	88.06	88.52	90.82	87.16	85.56	
		(4) 施設内の緑地環境の整備はいかがでしたか。	3,033	1,249	395	937	452	
	「満足」「やや満足」の回答率（%）	90.32	91.91	75.53	93.23	95.97		
	(5) 大学校での生活全般についてはいかがでしたか。以前研修を受けたことがある方は、その時と比べて今回はいかがでしたか。	「満足」「やや満足」の回答率（%）	87.02	86.09	87.19	86.67	90.23	
		各設問に対する回答数合計（件）	6,734	2,721	1,051	2,012	950	
	質問2について	「満足」「やや満足」の回答数合計（件）	5,978	2,389	916	1,809	864	
		「満足」「やや満足」の回答率（%）	88.77	87.80	87.16	89.91	90.95	
		(6) パソコン、アイロン等備品の貸出の対応、各種問合せへの対応はいかがでしたか。	「満足」「やや満足」の回答率（%）	90.29	89.55	87.19	91.54	93.21
			(7) 夜間の静粛の保持への対応、緊急時、突発時等の対応はいかがでしたか。	2,946	1,172	460	889	425
「満足」「やや満足」の回答率（%）		87.73	86.24	87.95	88.46	90.23		

（注）各設問における「満足」「やや満足」の回答数合計（件）及び回答率（%）